（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

# 令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---|---|
| 事業名 | 四賀バラ公園プロジェクト |
| 事業主体<br>（連絡先） | 四賀元気プロジェクト『四賀バラ公園実行委員会』<br>松本市会田 1001-1　TEL0263-64-2147 |
| 事業区分 | その他地域の元気を生み出す地域づくり |
| 事業タイプ | ハード・ソフト |
| 総事業費 | 5,413,410 円（うち支援金：4,083,000 円） |

## 事 業 内 容

（ハード事業）
①令和３年度から取り組んだ四賀バラ公園の再生事業が３年目を迎え本年は公園の拡張を行った。スロープの設置、のり面に石垣、植樹を実施。

（ソフト事業）
②公園管理状況の向上を図るため各種備品の購入
③スタンプラリー、四賀バラまつりの開催
④松本ローズカップ協賛・協力
松本市が招致した女子野球ローズカップ（会場四賀野球場）にて隣接するバラ公園への誘導。

【スロープ設置】

【目標・ねらい】

①公園まで移動の安全確保。
②公園維持管理の向上
③来場者増大のための施策
④野球観戦来場者の公園への誘導

## 事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①公園内の造成工事
・駐車から公園までのアクセスが便利かつ安全になった。
②各種備品の購入
・植樹したバラの維持管理に効果を上げた。
（ボランティア新規登録者数 10 名）
③イベント開催によって来場者が増え、地区内外への有効な PR 活動となった。（来場者約 300 人/日）
④女子野球の全国大会に合わせ、応援に来た県外の選手やその家族にバラ公園の存在を周知できた。

※自己評価【B】

【理由】
公園全体の景観が向上し、駐車場からの公園までのアクセスに安全が確保された。
公園整備のための備品が充実したことで維持管理がしやすくなった。

## 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。
令和３年に続き、本年ではハード面では十分な効果が得られた。一方、来場者の数は現在より上回る人を呼び込みたい。
今後は、バラ公園に訪れる人を更に多くし、地域の活性化に繋げる取り組みを継続したい。
そのためには、開催するイベントを充実させるとともに地域住民の協力を得ながら、ボランティア登録者を増やすなどソフト面での充実を図っていく必要がある。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある